

# 東京女子大学

## 論 集

### 第 XV 卷 第 2 号

---

#### 方法論の問題

- 有島武郎『クララの出家』の主題 — 文学研究に  
おける性心理学的方法の可能性と限界 — 笹 渕 友 一 [ 1 ]
- 『ニュークリティシズム』とその系譜 佐 山 栄太郎 [ 23 ]
- イワーノフ＝ラズムニクのロシア・  
インテリゲンツィア論に寄せて 岩 間 徹 [ 41 ]
- 地 域 社 会 構 造 と 精 神 障 害  
— 社会生態学的方法の検討をとおして — 古屋野 正 伍 [ 63 ]
- 十七・十八世紀の方法思念をめぐる哲学史的一考察  
— 学の統一と分離について — 酒 井 瞭 吉 [ 87 ]
- 心 理 学 と 数 学 的 模 型  
— 思考の非数量的模型を中心として — 高 田 洋一郎 [ 105 ]
- 科 学 用 語 の 定 義 に つ い て 玉 虫 文 一 [ 125 ]
- 現代生物学における対象と方法論 鳥 山 英 雄 [ 133 ]
- 量子力学における抽象と具体  
— 理論物理学の方法をめぐって — 遠 藤 真 二 [ 147 ]
- 
- 数 学 的 構 造 と 教 育 中 谷 太 郎 [ 163 ]  
(昭和39年度後期始業講演要旨)
- 雑 報
-